『高文連高知』発刊によせて

高知県高等学校文化連盟

会長　　川田　弘人（高知県立窪川高等学校）

高知県高等学校文化連盟は、県内の高校生の文化芸術活動を支援し、活動の充実、水準の向上に向けて様々な行事や研修会、講習会を開催し、必要に応じて文化芸術に関する調査研究を行っています。

令和５年度は、長く続きました新型コロナウイルス感染症の制限がようやく無くなり、以前の学校生活が戻ってきた喜ばしい年度でした。制限が無くなった当初は戸惑いも感じていましたが、徐々に新しい取組や環境づくりに向けて取り組み、学校行事や文化、スポーツなども活性化してきました。

文化芸術は、心豊かな生活を実現していくうえで不可欠なものであり、時代や世代を超えて私たちに感動を与えてくれます。そして感動は、人と人とのコミュニケーションであり、文化芸術作品は演者、作者等と観衆を繋ぐ媒体の役割を果たしています。作品を通して演者、作者等の個性や技術力、表現力が観衆に伝わることでさらに新しい価値観も発見されていきます。高校生にそういった体験の機会をつくることが私たち文化連盟の使命だと考えています。

本年度の高知県高文連は、各専門部の活動を円滑に実施できるようにするとともに、生徒実行委員会の活動を支えてまいりました。「2023かごしま総文」（第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会　令和５年７月31日（土）～8月４日（金））への視察を実施し、19名の生徒実行委員のみなさんに、総合開会式への出席や各部門の作品鑑賞を通して、新たな感動を味わっていただきました。この視察の見聞や体験を参考に、高知県高等学校総合文化祭の開催に取り組みました。PR活動として行ったイベントはこれまでにない回数となり、当日も開会式の運営のみならず、同時開催イベントも行いました。

令和５年11月14日（火）にかるぽーとで開催した第46回高知県高等学校総合文化祭開会式においては、土佐高校放送部、高知丸の内高校音楽部、高知小津高校吹奏楽部など多くの学校にご協力をいただき、滞りなく式典を行うこともできました。さらに、総合文化祭全体としても各専門部のおかげをもちまして大会テーマ「好きを生きる！天真らんまんに高く飛べ！」にふさわしい実りある大会となりました。令和６年度も各専門部のご尽力により、魅力ある総合文化祭となりますよう引き続きよろしくお願いします。

また、令和５年度全国高等学校文化連盟研究大会徳島大会（令和5年12月7日(木)・8日(金)）においては、私から「WEB　SOUBUN 開催への道程」という題で発表させていただきました。オンライン開催を行う上での様々な課題と対応について、全国のみなさまにご説明し、これまで深く触れることのなかった、当時の全国の高校生や指導者、高知県が抱いた数々の思いを届けられたのではないかと感じています。その後、全国の皆様から高知県を労っていただく声や共感してくださるご意見をたくさんいただき、これからの高校生の文化芸術活動に、再び2020こうち総文のような試練が訪れることのないようにと祈りました。

最後になりますが、高校生の文化部活動や地域文化の発展に対して、高知県教育委員会をはじめ、高知県中学校長会、高知市立小中義務教育特別支援学校長会、各専門部の会長・部長・理事、そのほか多くの関係の皆様からのご支援・ご協力に、厚く感謝と御礼を申し上げ、発刊に寄せるご挨拶とさせていただきます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和6年3月31日